

みちのく森の楽校だより



2018年

3月号



カタクリの葉！花はもうすぐ！

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。

2018年3月30日発行

3月24日（土）晴れ ホダ木づくり！

すっかり春が来ました。来月にキノコのコマ打ちをするため、今日はホダ木づくりをしました！
大人が大きなコナラの木を伐倒して、全員で玉切りをしました。
お昼は久しぶりのピザ！気温が高かったので、しっかり発酵しましたよ。

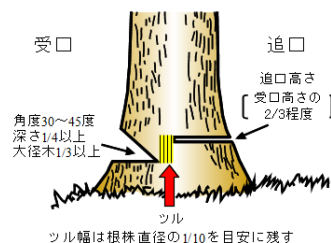


伐倒！

伐倒は、里山の数ある活動の中で、最もダイナミックで、そして最も危険な活動です！
浮ついた気持ではできません！

まず、注意事項をきちんと聞きます。危険なのは倒れる時、どちらに倒すのかをよく考えて決めて、その方向には決して入ってはいけません。

伐倒の手順は、
方向決めと周囲の確認、受け口づくり、追い口、そして伐倒です。



玉切り！ホダ木づくり！

伐倒したコナラを皆で玉切りをしました。ホダ木用なので90cmに揃えて切ります。

枝の向きや長さ、地面との関係をみながら、ノコギリの入れ方を考えます。

ノコギリの刃が切った枝に挟まれると動かなくなるので、枝の下から上向きにノコギリを入れることもあるのです。



ホダ木

アツアツのピザ！春の天ぷら！



生地を練る

春になり、気温が高くなってきたので、ピザを焼きました。寒すぎず、暑すぎず、ほどよく発酵しました。

生地を伸ばすのも、トッピングも子供たちにお任せアレ！香ばしい香りが漂っています。

春の天ぷらの主役は里山のフキノトウ。この苦みが春です。子供たちは苦手のよう。

そして、お彼岸なのでぼたもち。牡丹の花が咲く季節、すなわち春の彼岸に、ご先祖にお供えします。



生地を伸ばして



窯に石の蓋をした方が熱が逃げない！



焼けました！



う～ん！楽しい！



焼きたてピザ



春の天ぷら



ぼたもち



う～ん！おいしい！

お花炭のプレートづくり！

今年度の「森の楽校」卒業記念にお花炭の記念プレートを作りました。材料はすべて里山産！

スギのプレートは予め、ボランティアが作っておいてくれました。

空き缶に木の枝や杉ぼっくりなどを入れて、ドラム缶焚火でお花炭を焼きました。前に焼いておいたお花炭も使いましたよ。

スギのプレートをキャンパスにして、構図を決めてから、木工ボンドを使っていろいろな炭や木の実などを張り付けていきます。ボンドが乾けば完成です。

何を表現したのでしょうか？「森」のような、抽象絵画のような…

世界に二つとない、素敵な作品ができました。



お花炭を焼く



お花炭



私の作品

